平成２２年度評価問題「ゆうチャレンジ」（熊本県学力調査）　中学校２年　数学　出題のねらい等

連番	大問	中問	小問	領域及び学年	学習指導要領の内容	出題のねらい	観点				主に「知識」に関する問題	主に「活用」に関する問題
							数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な表現・処理	数量，図形などについての知識・理解		
①	1	(1)		数と式　２年	A (1) ア　整式の加法，減法	簡単な整式の減法ができること。			○		○	
②		(2)		数と式　２年	A (1) ア　多項式の計算	多項式と数の除法の計算ができること。			○		○	
③		(3)		数と式　２年	A (1) ア　整式の四則計算	単項式どうしの乗法・除法の計算ができること。			○		○	
④	2	(1)		数と式　２年	A (2) イ　連立二元一次方程式	連立二元一次方程式を解くことができること。			○		○	
⑤		(2)		数と式　２年	A (1) ウ　等式の変形	式の変形の手順を等式の性質に着目して考えることができること。		○				○
⑥		(3)		数量関係１年	C (1) ウ　反比例のグラフ	反比例のグラフ上にある x，y の組み合わせである座標を理解していること。				○	○	
⑦		(4)	ア	資料の活用１年	D (1) ア　相対度数（新）	相対度数について理解していること。				○	○	
⑧			イ	資料の活用１年	D (1) イ　ヒストグラム（新）	ヒストグラムを用いて資料の傾向をとらえ説明することができること。		○				○
⑨		(5)		図形　　１年	B (1) イ　基本的な作図	垂線や垂直二等分線を用いて，４５°の角を作図できること。			○			○
⑩		(6)		図形　　１年	B (2) イ　投影図（新）	立面図から立体を予想し，その平面図を考えることができること。		○				○
⑪	3	(1)		図形　　１年	B (2) ウ　球の体積（新）	球の体積を求めることができること。			○		○	
⑫		(2)		図形　　１年	B (2) イ　展開図	円柱の側面の横の長さが，底面の円の周の長さと等しいことを理解していること。				○	○	
⑬	4	(1)		数量関係２年	C (1) イ　一次関数	与えられた事象について，x に対応する y の値を求めることができること。			○		○	
⑭		(2)		数量関係２年	C (1) イ　一次関数のグラフ	与えられたグラフから必要な情報を読み取り，数学的に考えることができること。		○				○
⑮		(3)		数量関係２年	C (1) イ　一次関数の利用	グラフから事象を読み取ろうとしていること。	○					○
⑯	5	(1)		数と式　２年	A (2) ア　二元一次方程式	具体的な事象の中の数量関係を理解していること。				○	○	
⑰		(2)		数と式　２年	A (2) イ　連立二元一次方程式の利用	事象の中の数量の関係から連立二元一次方程式を考えることができること。		○				○
⑱	6	(1)		数と式　２年	A (1) イ　文字式の利用	具体的な問題場面において，考察の対象を的確にとらえようとしていること。	○				○	
⑲		(2)		数と式　２年	A (1) イ　文字式の利用	数量関係を文字を用いた式に表すことができること。			○		○	
⑳		(3)		数と式　２年	A (1) イ　文字式の利用	数量の関係をとらえるために，文字式を利用して考えることができること。		○				○